

令和6年度

交通安全教室【3つの実験】



日時： 令和6年6月11日（火） 13:20～14:10

場所： 袋井南中学校グラウンド

教科： 道徳 価値項目「遵法精神、公德心」

法や決まりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのより良いあり方について考え、義務を果たし、規律ある安定した社会を実現しようとする。

講師： 交通安全指導員（森様・長島様・鎌田様） 遠州トラック

進行： （情報担当）

13:20～13:25 交通安全教室の目的と流れの説明（交通安全指導員より）

13:25～13:40 遠州トラックによる実演～自転車内輪差実験

13:40～14:10 交通安全指導員より指導



①自転車事故の状況

②自転車とトラックの接近による危険性

③事故から人々を守るための交通規制

実演の内容に合わせて、自分の生活を振り返る



【自分の『命』を守るために大切なこと】

・交通ルールをしっかりと守る

・危険を予測して行動する

・他者のことを考える

→慌てているとき、交通事故が起こりやすいのでゆとりを持った行動をするようにしましょう！

危険回避！



遠州トラックの方々が死角実験・内輪差実験を披露してくれたおかげでいろいろなことを知る事ができました。一歩でも歩道から出たらどれだけ危ないか知ることができました。これからも、気を付けて登校をします。

今日は交通安全についてよく知ることができました。私も自転車通学なのでスピードを出しすぎないように気をつけたいです。また、通学路はよくトラックなどの大型車が通るので死角にも気を付けたいと感じました。

自転車で速いスピードだとすぐには止まれないことが実験を見て分かりました。トラックの前輪が自分に当たらなくても、後輪や車体が当たってしまうことが分かりました。道路で待つ位置にもこれから気を配りたいと思いました。



死角がトラックにはとても多くてびっくりしました。トラックは、制動距離が45kmの速度で走って止まったら18mも移動したので怖いと思いました。これからは気を付けて通学したいです。

トラックの運転席からの視覚が悪く、内輪差があるということを知りました。自分からはトラックが見えていても、トラックは自分のことが見えていないので、そこで事故が起こる可能性があります。なので、今日知ったことを頭の中に入れて、交通事故をしないようにしていきたいです。



普通に走っても、自転車で走っても、トラックで走っても、「走ること」はすぐに止まれないことが分かりました。これからは内輪差を考えて、交差点近くには立たないようにするなど、交通安全に気を付けて生活したいです。

＜制動実験代表生徒＞

池野（1年） 藤田（2年）

濱田（3年）